



問

津市の災害時受援計画について  
問う

令和6年5月22日、津市は能登半島地震の教訓を踏まえ、受援に重点を置いた図上訓練を行ったが、この訓練の内容と狙いは。また、この訓練を通じて明らかになった課題等はどのようなものがあったのか。

これを受けて、津市の災害時受援計画の改定の必要性や重要度、プライオリティを踏まえた今後の対応とスケジュールを問う。

答

津市総合防災訓練にて検証し、  
今年度中に計画を改定する

当訓練は、収集した情報を関係機関に提供し、安全かつ円滑な救助活動につなげることが狙いであり、自衛隊や警察、消防、三重県職員らも参加した。訓練で明らかになった主な課題は、情報の精度不足から、優先事項の選別や的確な指示が十分に行われなかったこと、現場のニーズの把握が不十分であったこと、救助部隊の割り振りや道路情報等を効果的に伝えられなかったことである。

これらを踏まえ、実動部隊の受け入れなどの記載を重点的に修正した津市災害時受援計画の改定案を11月に実施予定の津市総合防災訓練で検証した後、今年度中に同計画の改定を行う。

その他の質疑・質問

- 津市の職員を取り巻く環境について
- クーリングシェルトターの設置と運用について
- 津市における女性流出の現状と対策について
- 消防本部の取り組みについて
  - マイナカードを活用した救急業務実証事業は
  - 消防職員、団員のコンビニ等の利用について
- 津市の年間授業時間数の現状について

▶  
クーリングシェ  
ルターマーク



問

中小企業・小規模事業者の事業  
承継のための取り組みは

中小企業・小規模事業者は、雇用の担い手、様々な技術・技能の担い手として地域経済において重要な役割を果たしていると考えます。

将来にわたり、その活力を維持していくためには、円滑な事業承継によって、事業の価値をしっかりと次世代に引き継ぎ、事業活動の活性化を実現することが不可欠と考えるが、津市では、事業承継についてどのような取り組みがなされているのか。

答

関係機関と連携し、課題の把握  
や解決を図っている

ビジネスサポートセンターが実施する専門相談員による経営相談では、事業承継に関する相談も受けており、相談内容によっては三重県事業承継・引継ぎ支援センターと連携して対応している。同センターでは、起業希望者と後継者を探している事業主をマッチングさせる三重県後継者人材バンクも設置されており、そのような相談があれば紹介してつなげている。また、同センターが運営する県内金融機関、商工関係団体、各士業団体、津市を含めた自治体などで構成する三重県事業承継ネットワークも活用し、事業承継や引き継ぎに係る課題を把握しながら解決を図っている。

その他の質疑・質問

- 議案第79号 令和6年度津市一般会計補正予算(第2号)
  - 海浜公園内陸上競技場改修事業について
  - 防災に向けた取り組みについて
  - 特殊詐欺による被害の状況と未然防止に向けた取り組みについて
  - 津市民歌、津のまち音頭の普及について

▶  
第3種公認陸上  
競技場としての  
改修整備が行わ  
れる海浜公園内  
陸上競技場

